



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships  
30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <http://www.aots.jp/>

技術協力活用型・  
新興国市場開拓事業  
(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2023年7月

## 募集要項

アフリカ イノベーションマネジメント研修コース  
The Program on Innovation Management for Africa  
[AFIM]

2023年12月6日～19日  
2024年2月21日

## 1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。

AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

急成長するアフリカでは、資源依存型経済からの脱却の必要性や製造業集積の成長モデルの描きにくさという課題を背景に、スタートアップやイノベーション創出が盛り上がりを見せています。本研修では、アフリカで新規事業開発を行う意思のある者を対象に、社会課題を解決する手法であるイノベーションに着目し、既存のシステムや常識の枠にとらわれない事業機会の発見、新しい価値の創出、ビジネスモデル策定等について講義、演習、日本企業の事例見学を通して学び、イノベティブな新規事業の立案ができる人材を育成することを目的として実施します。

## 2. 対象国：

下記の対象国・地域一覧をご確認ください。

対象国・地域一覧 (2023-2024)

カテゴリー2		
Algeria	Eswatini	Niger
Angola	Ethiopia	Nigeria
Benin	Gabon	Rwanda
Botswana	Gambia	Sao Tome and Principe
Burkina Faso	Guinea	Senegal
Burundi	Guinea-Bissau	Sierra Leone
Cabo Verde	Kenya	Somalia
Cameroon	Lesotho	South Africa
Central African Rep.	Liberia	South Sudan
Chad	Madagascar	Sudan
Comoros	Malawi	Tanzania
Côte d'Ivoire	Mali	Togo
Democratic Republic of the Congo	Mauritania	Tunisia
Djibouti	Mauritius	Uganda
Egypt	Morocco	Zambia
Equatorial Guinea	Mozambique	Zimbabwe
Eritrea	Namibia	

注. 上記の表は五十音順で序列し、国・地域名は一般名称にて表記しています。

## 3. 参加者の人数：

18 名

## 4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として経営者、経営幹部、上中級管理者等の新規事業開発を行う意思のある方
- (2) 年齢は 20 歳以上の方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方

- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
  - (5) 心身健康な方
  - (6) その他管理研修共通参加資格
  - (7) アフリカに居住の方
  - (8) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
  - (9) 過去に低炭素技術を輸出するための人材育成支援事業及び技術協力活用型・新興国市場開拓事業（研修・専門家派遣事業）の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183日）以内に開始されるコースに応募することはできません。
- ＊ 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

注意：

- (1) コース参加者は、2024年2月に実施されるオンライン研修を含む研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族を同伴することはできません。
- (3) 参加者はAOTSに対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTSの承認を受けた場合はこの限りではありません。
- (4) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (6) 申し込み人数が定員を上回る場合は、日本の受入企業または海外の派遣企業1社当たりの参加人数を制限させていただくことがあります。

## 5. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接AOTSに申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に実地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

### （日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、またはE-mailにて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、実地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を**2023年9月20日（水）**までに、AOTS研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）までご提出ください。
  1. 研修申込書（概要）
  2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書
  3. 事前研修レポート
- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。
 

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。

※上記AOTS所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

### （海外の現地法人からAOTSに直接お申込みの場合）

AOTS海外協力機関を通して、以下の応募書類一式をPDF・エクセル両方の形式で、**2023年9月20日（水）**までにAOTS事業統括部に到着するように提出してください。

応募書類の提出期限は、各団体によって異なりますので、AOTS事業統括部（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせください。

お申込者にはAOTS海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS所定様式：手書きの記入は避けてください）
 

※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出
- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書 (AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください) ※PDF
- (4) 研修生個人情報の取り扱いについて (AOTS 所定様式) ※PDF
- (5) 海外旅行保険承諾書 (AOTS 所定様式) ※PDF
- (6) 研修契約に関する申告書 (日系派遣企業用) ※PDF
- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF
- (8) 顔写真データ (データタイトルに氏名を入力してください) ※JPEG または PDF
- (9) パスポートコピー ※PDF  
 ※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等 (公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの) を提出してください。
- (10) 事前研修レポート ※WORD

**注意：**

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。  
 ※上記 AOTS 所定様式については AOTS 事業統括部にお問い合わせください。

提出された応募書類は、**2023 年 10 月 19 日 (木)** の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時時点で **18 名** に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

**6. 研修コースの概要：**

■ 目的

本コースは、アフリカで新規事業開発を行う意思のある者を対象に、既存のシステムや常識の枠にとらわれない事業機会の発見、新しい価値の創出、ビジネスモデル策定等について講義、演習、日本企業の事例見学を通して学び、イノベティブな新規事業の立案ができる人材を育成することを目的として実施します。

■ 期待される効果

- (1) 事業機会の発見、事業アイデアの創出、製品・サービスのデザイン、事業モデルのデザイン、マーケティング策の決定、その妥当性検討という事業をデザインしていくフローについて理解を深めることができます。
- (2) イノベーションや新事業開発について、日本企業が実践してきた事例や現在取り組んでいる事例から学びを深めます。
- (3) 参加者同士で議論をしながら新事業開発案を作成します。

■ 期間

2023 年 12 月 6 日 (水) ～12 月 19 日 (火) (14 日間・東京研修センター)  
 2024 年 2 月 21 日 (水) (1 日・オンライン)

■ 内容

【第一段階】

イノベーションとは何かおよびその必要性について理解を深める。その上でグループ分けされた各グループにおいて、参加者は自社または自国が抱える課題を共有し、取り上げたい社会課題を合意する。

【第二段階】

事業デザインフローを構成する事業機会の発見、事業アイデアの創出、製品・サービスデザイン、事業モデルのデザイン、マーケティング策の決定、その妥当性検証の考え方、手法、その適用方法について講義、演習、グループワークを通じて学ぶ。また、日本企業におけるイノベーション事例を通じて、イノベティブ

ブな事業案構築についてさらに理解を深める。

**【第三段階】**

これまでの講義や企業見学で学んだことを適用しながら、コース初日に各グループで合意した社会課題を解決するための新規事業の事業計画を立案し、最終日にグループごとに発表する。

**【第四段階】(帰国後オンライン研修)**

来日研修を受講し、帰国後にどのように学びを実務に活かしているかを参加者が発表する。それらの発表とそれに対する講師コメントから、日本での学びを現地での仕事へつなげる橋渡しを行う。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなり、夕食前にグループ討論が行われます。  
日程表(予定)をご覧ください。

■ 使用言語

講義、企業見学、演習は英語あるいは英語通訳付で行われます。コースで使用する資料と教材は英語で作成されます。

■ コース・ディレクター

中川 功一 博士 やさしいビジネススクール学長

2004年東京大学経済学部卒業。08年同大学大学院経済学研究科博士課程修了。経済学博士(東京大学)。大阪大学大学院経済学研究科准教授などを経て独立。「アカデミーの力を社会に」をモットーに、日本のビジネス力の底上げと、学術知による社会課題の解決を目指す。専門は、イノベーションマネジメント、経営戦略論。

■ 研修場所と宿泊施設(予定)

AOTS 東京研修センター(TKC) <http://www.aots.jp/jp/center/about/tkc.html>

120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8231(受付) ファックス：03-3888-0763

アフリカ イノベーションマネジメント研修コース [AFIM]

日程 (案)

2023年12月6日～12月19日

AOTS 東京研修センター (予定)

月/日	午 前		午 後	夕方
12月6日 (水)	オリエンテーション/開講式 講義： 起業家講演		講義/演習： 事業機会の発見	討論： グループ討論 (1)
7日 (木)	見学： 日本企業におけるイノベーション事例		見学： 日本企業におけるイノベーション事例	討論： グループ討論 (2)
8日 (金)	講義/演習： アイデア創出		講義/演習： 新製品開発	討論： グループ討論 (3)
9日 (土)	休み			
10日 (日)	休み			
11日 (月)	講義/演習： ビジネスモデル作成方法			討論： グループ討論 (4)
12日 (火)	企業等見学 (遠隔地)	企業見学： 日本企業におけるイノベーション事例		-
13日 (水)		企業見学： 日本企業におけるイノベーション事例		-
14日 (木)		企業見学： 日本企業におけるイノベーション事例		-
15日 (金)	講義/演習： マーケティング戦略 - 3 C		講義/演習： マーケティング戦略 - 4 P	討論： グループ討論 (5)
16日 (土)	休み			
17日 (日)	休み			
18日 (月)	講義/演習： ビジネスモデルの妥当性を検証する方 法		講義/演習： ビジネスモデルを実行するための最初 のステップ	討論： グループ討論 (6)
19日 (火)	最終レポート発表		最終レポート発表/修了式	-

帰国後研修（オンラインにて実施）

月／日	午 前	午 後 / 夕 方	夕 方
2月21日 (水)	—	参加者の帰国後成果発表	

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。

日本入国時の検疫措置は次の通りです。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/bordercontrol.html>

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 12/5 来日・終了日翌日 12/20 帰国の 14 日コース 成田空港・東京研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中堅・中小企業（アフリカ）の場合 補助率 100%（受入費）

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	480,380	[2/3] 480,380	[1/3] 0
2. 研修実施費	524,000	391,000	133,000
合計	<b>1,004,380</b>	<b>871,380</b>	<b>133,000</b>

【試算例 2】大企業（一般分野）（アフリカ）の場合 補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	180,380	[1/3] 120,253	[2/3] 60,127
2. 研修実施費	525,000	275,000	250,000
合計	<b>705,380</b>	<b>395,253</b>	<b>310,127</b>

【

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費は大企業については補助対象外となります。（ただし、中堅・中小企業はアフリカのみ対象です。）

※研修コース参加後に現地研修をご希望の場合、経費については、AOTS 研修・派遣業務部 研修業務グループにお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舍費・食費	来日日のみ	9,020 円／泊
	来日日以外	9,900 円／泊
研修旅行時	宿舍費	12,100 円／泊
	食費	2,750 円／泊
雑費		1,040 円／泊

※管理研修終了後、現地研修を実施することができます。その場合、以下の現地研修費が補助対象となります。

現地研修費	AOTS 基準	備考
現地研修に必要な経費に充当 (現地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)	大企業 3,360 円／日	・日額単価・暦日 ・研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円／日	

<海外の法人からお申し込みの場合>

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館（以下「在外公館」とする）にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ビジネス・トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し自国を出国した時から、自国に帰国するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救済者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。



## 1.1. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長  
連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ  
電話： 03-3888-8211 E-mail: [kojinjoho-cj@aots.jp](mailto:kojinjoho-cj@aots.jp)

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。  
それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。  
尚 AOTS の個人情報保護方針は、<http://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html> をご覧ください。

## 1.2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: [kigyo-inquiry-az@aots.jp](mailto:kigyo-inquiry-az@aots.jp)

海外の法人から直接のお申込の場合

事業統括部 海外協力グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: [shouhei-au@aots.jp](mailto:shouhei-au@aots.jp)

※本募集要項に書いてある要件は2023年5月9日時点の日本政府の水際対策に基づきます。日本政府の水際対策、療養解除条件の変更により、要件が変わる可能性があります。

**PRE-TRAINING REPORT**

**–The Program on Innovation Management for Africa –  
[AFIM]**

Please fill in the following items by using a personal computer or similar equipment in English. Handwriting should be avoided. AOTS will duplicate and distribute it to lecturers and other participants as a reference material for the group discussion and the presentations to be held during the program.

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization  (preferably attach an organization brochure)	
5. Your position and department  (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	
7. What is your image of “Innovation”? How would you define it?	

<p>8. What do you think are necessary elements for “Innovation” in your company/organization? If there are any difficulties in fulfilling those elements, please explain.</p>	
<p>9. Please describe your new business idea if any. Please elaborate with the schedule. If no, please tell us your area of interest if you were to launch a new business.</p>	
<p>10. How can your ideas improve the world? Please write about how you would make the changes. Please be as specific as possible.</p>	
<p>11. What are your expectations of the program?</p>	